

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立中部中学校

校長 山内 日

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

～運営協議会テーマ「参画と評価」～

平成21年度から市のコミュニティスクール推進校として、「参画と評価」をキーワードに、活動方針を以下のように設定しています。

- ① 学校訪問などにより、学校教育活動への参画と評価により支援します。
- ② 地域の声を協議会へ、教育活動の様子を地域へと情報の橋渡しをします。
- ③ 学校自己評価（中部中の教育調査）の評価項目の検討をします。
- ④ 学校自己評価結果や学校づくりビジョンに対する学校関係者評価をします。
- ⑤ 学校関係者評価に示された提言について、学校の教育活動の推進を見守りサポートします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

・キャリア教育① 講演会

本年度の職場体験学習は、コロナ禍のため中止となり、その代わりとして「看護師」「パティシエール」の方に来ていただき、講演会を実施した。「看護師」の方には、病院で働く人の様々な職種や、看護師になるためにどんな学校で学べばよいのかなど、細かく話をしていただき、「パティシエール」の方には、小さいころからパティシエールになることを夢見て勉強をされてきたことや、高校卒業後、すぐに働き始めたこと、勤務時間や、勤務内容、どんなことを意識して働いているのかなどを細かくお話していただきました。

講演会を通して職業、働くことについて考えるいい機会となりました。



・キャリア教育② パネルディスカッション

コミュニティスクール運営協議会委員と生徒のパネルディスカッションを1月28日に予定をしていましたが、コロナ禍のため3月22日に変更して実施することになっています。テーマは「働くことを考える」で、パネラーの体験やあらかじめ実行委員の生徒が考えた質問に答え、その後にキャリア講演会等で感じたこと考えたことをもとに、生徒たちの将来につながるよう意見交換する予定です。



昨年度の様子

(2) コミュニティスクール（運営協議会） の取組による効果

毎年度、運営協議会を5回実施しています。そのうち3回は6部会（学校運営、道徳・人権、教科授業づくり、生徒指導・特別支援教育、国際理解教育）の担当教員が参加し、各部会の取組の説明を行い、ご意見をいただいています。また、他の2回は学校行事と併催するなど、教育活動の参観を伴った意見交換会として実施し



ています。授業や行事の参観後に委員の皆さんの視点から感想や評価を、時にはアイデアをいただいています。

今年度は、第3回の会議がコロナ禍で休校となっていたため実施できませんでしたが、その他の会議、参観は実施することができたため、コロナ禍での生徒たちの様子や感染拡大予防の工夫をした授業を見ていただき、意見交換を行うことができました。

第5回の運営協議会では、次年度の学校づくりビジョンの承認をいただくとともに、校区の保護者や生徒の生の声を交えた次年度の取組へのご意見等もいただくことができました。

3 今後に向けて

本年度も数多くの教育活動に参画していただき、評価をしていただいたと思います。コロナ禍で延期になっている委員の方にパネラーとして参加いただくパネルディスカッションについては、委員の方が直接生徒と触れ合う場となっており、委員の豊富なキャリアに触れ、意見交換をしたり、自分の生き方を見つめ、将来について考える貴重な機会となるため、今後も継続していきたいと思えます。

また、他の行事や授業参観の際には、生徒の主体的な活動や、学びに向かう姿が多くの場面で見て取れたこと、教師が生徒と積極的に向き合う姿勢を評価していただき、学校づくりビジョンの実現に向けて着実に前進していることを確認することができました。

今後は、外国人生徒指導や特別支援教育、不登校問題、教職員の過重労働など、他にも多岐にわたりご意見をいただいたことを活かして、さらに取組を深化させていきたいと思えます。